

11月
霜月



歩 歩

第 191 号
2020年11月1日発行

NPO 法人
福井県ウオーキング協会
〒910-0006
福井市中央1丁目9-29
エコライフプラザ3F
Tel.0776-28-6980 FAX0770-45-0676
Mail fukui-walking@cube.ocn.ne.jp
HP http://fukui-walking.sakura.ne.jp

(11月例会の案内)

秋の大虫地区を歩く

開催日：11月 8日(日)

集合場所・時間： JR武生駅8時20分

解散場所・時間： JR武生駅12時00分

交通：JR福井駅発7時53分、

JR敦賀駅発7時41分の電車が便利です

距離：12Km 短縮コースは有りません

コース=JR武生駅⇒総社大神宮⇒シピー⇒高森陣屋跡⇒大虫神社⇒大虫廃寺塔跡⇒中央公園
⇒JR武生駅

注意：マスクを必ず持参してください。

見どころ=大虫神社は、伊勢神宮と同じくらい古い歴史を持つといわれている神社で、平安時代に作られた木造の男神座像2軀は国の重要文化財に指定されています。社殿の横にご神体の大きな岩を祭ってあります。大岩神社(おいわさま)と呼ばれています。御手洗場に引かれた水は「石神の水」と呼ばれる湧き水で、昔は簡易水道の水源にしていたほどの清水です。

参加申込：当日申込み

参加費：会員100円、他協会300円、一般500円(資料、保険料含)



(11月例会の案内) 設立記念ウオーク

「大河ドラマにあやかって」 明智光秀の足跡をたどる③

開催日 11月23日(月、祝)

集合時間・場所： 9時00分 JR小浜線美浜駅

解散時間・場所： 12時20分 JR小浜線美浜駅

交通：JR福井駅6時53分 JR小浜駅8時41分発の電車が便利です

距離：10Km 短縮コースは有りません

コース=JR美浜駅⇒河原市地区⇒佐柿地区⇒国吉城資料館(城跡)

⇒国吉会館にて設立記念イベント(佐柿地区)⇒JR美浜駅

注意：マスクを必ず持参してください。

見どころ=国吉城は続日本100名城で、1556年に築かれ、1563年から約10年に渡り、越前朝倉勢を相手に壮絶な籠城戦を繰り広げ「難攻不落」を誇りました。1570年4月越前朝倉攻めのため、織田信長、徳川家康、木下藤吉郎、柴田勝家などが、近江の国より若狭熊川に入り、先触れに明智光秀が入っています。信長は三日間国吉城に滞在しています。

参加申込：当日申込み

参加費：会員100円、他協会300円、一般500円(資料、保険料含)

※当例会はフリーウオークで行います

国吉会館(佐柿地区)にて協会設立30周年記念イベント(30分程度)を実施します。



9月のウォーキング記録

行事名 : 県民スポーツ祭 「王子保歴史巡りウォーク」
開催日 : 2020年9月27日(日)
距離 : 5Km及び10Km
参加者 : 86名



コース=王子保公民館⇒今宿町⇒大塩八幡宮⇒国兼町⇒旧北陸道⇒(5Kmは王子保公民館)
10Km⇒中平吹町⇒日野神社⇒下平吹町⇒富士見ヶ丘⇒王子保公民館

大会当日、青空有り、黒い雲有り、参加者の方からあの雲がちょっと危ないかなと言われ、86人で8時45分スタート。右手に清らかな用水路を見て、旧北陸道を歩きます。途中踏切を渡り、参道入り口の朱の鳥居をくぐり大塩八幡宮へ。至る所が苔むしていて情緒が感じられ、室町時代に作られた拝殿は国の重要文化財。大きくて立派な拝殿に圧倒されました。旧北陸道へ戻り、一里塚、一本杉から、小松屋さんの看板を目印に、直進は公民館までの5キロコース。10キロコースは右へ、越前富士とも呼ばれ、山頂からは天気恵まれれば、日本海、白山、御嶽山が見える日野山の登山口にある日野神社へ歩きます。日野川を渡り、サイクリングロード松ヶ鼻公園を右に見て富士見ヶ丘へ。大塩谷川の堤防には多くの桜の木が有り、春にはとても綺麗だろうと思っていたら、再び旧北陸道へ、公民館ゴール。



10月のウォーキング記録

行事名 : 「大河ドラマにあやかって」明智光秀の足跡をたどる①
開催日 : 2020年10月4日(日)
距離 : 10Km及び16Km
参加者 : 39名



コース=JR越前東郷駅⇒法光寺⇒西蓮寺・明智神社⇒一乗小学校⇒一乗谷朝倉遺跡(昼食)⇒遺跡資料館⇒あさくら水の駅⇒JR越前東郷駅。10Kmは復元町並まで

参加者には手の消毒と検温をしてもらい、受付係はフェースシールドをして対応。くれぐれも密にならないように注意してほしいとお願いして出発。山際の旧朝倉街道とおぼしき所を行くと、明智光秀ゆかりの地に到着。西蓮寺と明智神社を訪ねる。当地では明智光秀を「あけつつあま」と親しく呼んで祀っている。ここから峠越え(朝倉街道大手道)で一乗谷へ。途中で小雨がぱらつくが、足取り軽く朝倉氏遺跡中心部へ。短縮コースはここまで。昼食後、武家屋敷跡の散策路を下城戸跡へ。鍵型に高く積まれた多数の大岩をどこからどのようにして運んで、組み上げたのか、当時の技術の高さと戦国武将朝倉氏の初代から五代にわたる支配力の強さを痛感した。山裾の遊歩道を進む。一乗駅の西方にひっそり佇む西山光照寺跡に石仏群が安置されている。近年の例会としては距離が長かったが、全員気持ちよく清々しい様子で好評のうちにゴールした。

